

SPEEDIK

グラシア
GRACIA
スピードキ 電気バリカン



PROFESSIONAL

このたびは、スピードキ・クリッパー「グラシア」をお買い上げいただき、誠に有り難うございます。私達はこの品が、皆様方のお役に立つことを心から願っております。持てる性能を、十二分に活用いただけますよう、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくご使用ください。

クリッパー本体に関する注意

- [1] 本体にセットする替刃はスピードキの純正品以外はご使用なさいでください。
[2] 本製品は本体・替刃ともに水分を嫌います。水気の近くでのご使用もおやめください。状況によって感電することがあります。
[3] 作動中はしっかり本体を持って操作してください。お使いにならない時は、本体が落下しないように気をつけてください。また、お客様の手が届かないところに保存してください。
[4] お客様自身での分解・改造・修理はおやめください。
[5] 使用されない時や、スイッチを入れても作動しない時は必ず電源からプラグを持って抜いてください。電源コードや差込プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるい時には使用しないでください。替刃で傷ついたコードはショートしやすく、時には発火いたします。コードが傷ついた場合はただちにプラグを抜き弊社までお送りください。
[6] アリ（替刃を取り付けられる金属の凹部分）側面部にあります小ネジは、替刃が抜けやすくなったときに少しづつ締めて調整してください。小ネジを締め過ぎますと替刃が根元まで入らなくなります。緩め過ぎますと小ネジがご使用中に抜け落ちることがあります。小ネジがとれますと、内部のバネとボールも抜け落ちます。それぞれ小さく紛失しやすいものですから、そのために緩め過ぎにご注意ください。また、替刃をつけた状態で小ネジを締め過ぎますと替刃が抜けなくなります。緩めすぎますと替刃が落下し、刃折れを引き起こします。
[7] 替刃は刃物です。思わぬことで怪我（ケガ）をすることもあります。慎重にお取り扱いください。
[8] 替刃は鋼材の上刃と下刃が擦り合わせて切れています。そのためどうしても摩擦熱が発生してしまいます。長時間ご使用になる方は予備の替刃を用意され、交互にお使いになられるようお勧めいたします。替刃での火傷の防止になります。

ペットトリミングでご使用の方へ

- [1] ペットの毛のもつれ毛や砂等異物がないよう、シャンプーやブラッシングをされてからご使用ください。もつれ毛や異物があると替刃の切れ味を劣化させたり、刃こぼれの要因となります。また、毛は十分に乾かしてください。水気は故障の要因となります。
[2] 替刃をセットしてください。新品時の替刃は最もよく切れる状態にセッティングされています。表面の油だけ拭き取り、どこもいらずそのままお使いください。分解等されますと切れなくなる場合がありますので、ご注意ください。
[3] トリミングの作業中は、ゆっくりクリッパーをお進めください。切り取る以上のスピードで進めますと毛が替刃につきまわり、クリッパーが取り回っていきません。そのようなことを繰り返しますと替刃の劣化につながります。
[4] トリミングが終わりましたら、ブラシで替刃についた毛を表裏とも前方に向けて払い落としてください。刃の分解は必要ありません。また、上刃と下刃の接触面に（刃先と後方のレール部分）注油してください。錆を予防し替刃の切れ味保持に有効です。注油は本体に付属の刃のオイルもしくは市販のミネラル油等をご使用ください。
■ 替刃のmm（ミリ）表示は毛の生えている方向と逆のほうから刈り上げた場合、刈りこるmm数です。ペットの身体は柔らかく動きまわりますのでmm表示を参考数値にしてください。また、毛の生える方向に沿って、刈られますと表示以上に刈り残ります。
【注】・・・クリッパーの操作に慣れられるまでは、6mmまでをお勧めいたします。mm数の大きい替刃は毛がすくい上げにくく、重さのバランスもとりにくく、熟練を要します。

仕様と特徴

品名 スピーディク 電気バリカン

名称 “GRACIA” グラシア

仕様 table with columns: 電源, モーター, 振動数, 重量, サイズ(本体), ボディカラー

特徴

- ★ プラグに交流を直流に変換する電子部品を内蔵させ、本体自身を軽くしました。
★ モーターはカーボレスモーターを使用しており、長持ち・パワー設計となっております。
★ 約250gと軽量のため、長時間の作業でも疲れにくいです。
★ 業務用（プロフェッショナル仕様）として最高の機能を持っています。SPEEDIK（スピー）印・替刃の切れ味をフルに引き出します。

アフターサービスについて

- [1] お買上げ後すぐに異常が起きた場合は、内部機構が替刃に手を触れずお求めの販売店へお出しになられるか、直接当社へお送りください。当社にて完全修理の上ご送いたします。（点検調査の後、保証範囲内かどうか判断させていただきます。落とされた場合などは有償となります。修理・刃研の仕上がり直後も同様です。）一般の故障時も、同様に手をつけずそのままの状態でお送り願います。
[2] 切れなくなった替刃は、当社で研磨いたします。ハサミや包丁とは研磨方法が異なりますので、当社にお送りください。研ぎシロがなくなるまで数度研磨でき、新品同様の切れ味が戻ります。
[3] 修理品、刃研品をお送りいただく場合下記のご注意をお願いします。
● お名前・ご住所・郵便番号・電話番号は必ずお書きください。
● 輸送中の事故がないよう、本体は箱に入れて詰めて固定してください。替刃は折れやすいので、備え付けのキャップをかぶせか、厚紙でキャップをつくるなど、特にご注意ください。
● できるだけ早くお手元にお戻しできるような努力はしておりますが、時期によって、修理・刃研が1か月以上かかることもございます。なにとぞご理解の上お願いいたします。
[4] 当社ではこのクリッパーの補修用部品を製造打ち切り後、5年間は在庫しております。安心してお使いください。
[5] 当社製品には保証書はございません。当社製品はユーザー様により使用頻度の個人差が大きく、日数でははかれなからずです。かといって保証修理をしないわけではありません。当社が熟練担当者が使用頻度を判断し、（無償修理）・（有償修理）を判断させていただきます。
[6] この製品に関するご質問、又ご不明な点がございましたら、当社までお気軽にお問い合わせください。また、弊社ホームページをご覧ください。

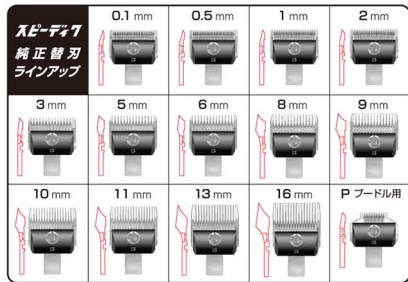
スピー株式会社 http://www.speedik.co.jp/



スピードキの替刃

替刃はクリッパーの命です。切れ味、そして耐久性が必要です。例えばペットの毛など柔らかく「コシ」がない毛に対しても、特に鋭い切れ味とその切れ味を持続させる耐久性が不可欠な条件です。当社ではそのような条件を満たし、ご愛用の方々に喜ばれ、また信頼される替刃作りを日々心がけております。替刃をお求めの際には切れ味の鋭い、当社製品 SPEEDIK スピー 印をご指名ください。SPEEDIK 印の替刃は当社製クリッパー全ての製品に共通してご使用できます。当社では下記の製品等14種類の替刃を製造しております。

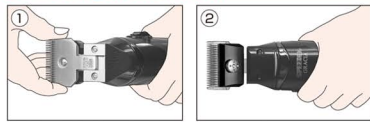
伝統の刃



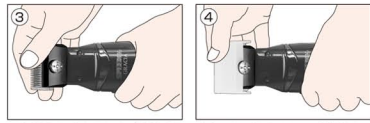
使用方法

■ グラシアは当社の他の製品と同様に差込式になっています。下記の写真のように本体のA部分（四角凹のついた金属部）に替刃をセットしてください。

A. 刃を差し込む（セットする）

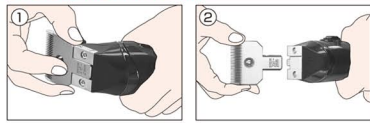


左手で本体、右指先で刃を写真のように本体のAへ斜め向きで差し込みます。 次にスイッチを入れます。モーターが始動して、本体の最前部にあるレバー（振子）が振動します。



刃を根元まで押し入れれば装着完了です。 安全の為、替刃にキャップを被せてセットすることをお勧めいたします。

B. 刃を抜く（リセットする）



左手で本体、右指先で刃を写真の様に持って下下さい。 本体のAりに水平方向に引っぱって抜いて下さい。

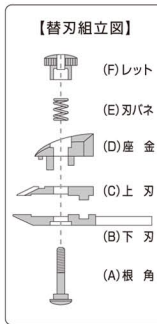
※ 替刃を抜くときは本体を動作させる必要はありません。
※ セット時に本体を動作させますのは、替刃レール部（白いプラスチック部）の凹と本体レバー部（頭部金属突起部）の凸を合わせるためです。凸凹を合わせないと替刃は入りません。

替刃に関する注意 - 1

- [1] スピーディク純正替刃はスピードキ以外のクリッパーにご使用なさいでください。
[2] 替刃の刃先は細く、薄く、大変折れやすいものです。落としたり、ぶついたりならざらないよう、お取り扱いには十分ご注意ください。
[3] レット（替刃上部のネジ）はいじらないでください。新品時は最良の位置にセットしてあります。最良の位置は1丁、1丁微妙に違い、出荷時に調整しております。レットを緩め過ぎると上刃と下刃の隙間が開き、毛が入り込んで替刃が急に切れなくなる原因になります。レットを締め過ぎると負荷がかかり、替刃が高温を持ったり、本体の故障につながります。万一レットを動かしてしまわれたら、レットを一度手でいっぱいまで締め、そして半回転から一回転戻してください。
[4] 替刃の掃除はブラシで毛を払う程度で結構です。
[5] 注油は非常に大切です。上刃と下刃の接触面（前方の刃先と後方のレール部）、座金（黒いプラスチック部）と上刃の接触面に、純正刃オイル（添付しているオイル）をご使用前の前と後に1〜2滴注油してください。使用前は替刃の摩擦熱を抑え、本体への負担も軽減されます。表面の余分なオイルはきれいな布で拭き取ってください。使用後は錆の予防に有効で、切れ味を保つにも効果があります。ブラシで替刃の毛をよく払ってから注油してください。注油は本体に付属の刃のオイルもしくは市販のミネラル油等をご使用ください。
[6] 替刃が抜け落ちたり、ガタガタするのはほとんどアリの問題です。（アリは本体頭部の四角い金属部分で、替刃と本体のジョイント部です）アリの側面の小ネジを締めてください。それでも異常があれば、アリの [] 部分が [] に変形していませんか。何らかの変形があれば、アリの交換が必要です。
[7] 原則に替刃が切れているときは、替刃の分解掃除は必要ありません。分解すると微妙な調整が狂い、逆に切れなくなる場合があります。

替刃に関する注意 - 2

- 替刃をやむをえず分解された場合の組み立て方
[1] 上刃と下刃の接触面に、毛やゴミ等の異物がないか、間違いなく確認してください。異物があれば、きれいな布で丁寧に拭き取ってください。
[2] 根角 (A) に下刃 (B) を挿入します。
【注】根角 (A) の頭部にある四角部を下刃 (B) の四角穴にきちんとはめてください。
[3] 次に上刃 (C) を挿入します。下刃 (B) のレール受けに上刃 (C) のレール（白いプラスチック）をきっちりとはめてください。
[4] 次に座金 (D) を挿入します。
【注】座金 (D) 中央部2本の金属ピンを下刃 (B) の穴にしっかりとはめ込んでください。座金 (D) 前方部のプラスチックの突起部（レール状）を上刃 (C) の溝にきちんとはめ込んでください。
[5] 次に刃バネ (E) を挿入します。
【注】[4] と [3] の動作は順序を間違いないでご注意ください。
[6] レット (F) を根角 (A) にしめつけます。
【注】レット (F) は一度いっばいしめつけて半回転から一回転ほど戻してください。
[7] 上刃 (C) や座金 (D) ががたつきがないか確認してください。
【注】[4] と [3] は [4] からやり直してください。
※作業中、指等でレットを押さえ込む方が、きちんと組み立てられます。
※組み立て方がズレますと、それまで切れていた替刃も切れなくなります。再度組み直しても切れない時は、当社まで研磨にお出ください。



スピー株式会社

〒579-8041 東大阪市喜里川町2番12号
TEL (072)981-4426(代)・FAX (072)981-6885
ホームページ: http://www.speedik.co.jp/